

夜行バス 防風林に突っ込む 運転手の男性死亡

目がかゆいは、眠気のサイン
運転時の休憩は、2時間ごとに

2時間走行、15分休憩
守ろう！ 自分の命、他人の命

午後8時 夜行バス、防風林に突っ込み 運転手の男性が死亡

フロントが大破し車体がめり込むように…
搬送の乗客21人は、ほぼ軽傷か

センターラインを越えて防風林に突っ込んだとみられる
運転手には持病などはなく、当日の点呼でも異常はなかった

2025/3/23(日)

22日午後8時半ごろ、三重県の国道で、「バスが防風林に突っ込んだ」などと付近の住民から警察や消防に通報がありました。この事故で、合わせて22人が搬送されましたが、運転手の男性（57）が病院で死亡が確認されました。また、搬送された乗客21人は全員意識があり、ほとんどが軽傷。

現場は片側1車線の直線道路で、警察によりますと、バスはセンターラインを越えて防風林に突っ込んだとみられるということです。

運行会社によりますと、運転手には持病などはなく、当日の点呼でも異常はなかったということで、警察が事故の原因を調べています。